

熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案及び
熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見書

1 熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案

P 1 8 ④年齢階級別、男女別の人口移動（純移動数）5行目	
<p>(意見) 40歳代の人口移動は「転出超過」ではなく「転入超過」であるため、その記述を修正されたい。</p>	
<p>(原文) また、40歳代以上では「東京都」からの転出超過が多くなっています。</p>	<p>(修正) また、40歳代以上では「東京都」からの<u>転入超過</u>が多くなっています。</p>

P 2 5 図表17 年齢階級別産業大分類別就業者数の割合	
<p>(意見) 図表中に産業大分類別の就業者数を追加されたい。</p>	
<p>(原文) 就業者数の記載は存在しない。</p>	<p>(修正) 就業者数を追加する。 (別添図表のとおり)</p>

P 3 7 第3章 まとめ 15行目	
<p>(意見) 市としての方向性を示した記述に修正されたい。</p>	
<p>(原文) 地方創生が実現し、人口減少に歯止めがかかれば、地方の方が先行して若返ることになります。本市において、豊かな地域資源やICTを活用して、新たなイノベーションを巻き起こし、活力ある地域社会を創生することが期待されます。</p>	<p>(修正) <u>人口問題は必ずしも私たちの日常生活に短期的に影響が出るものではありません。</u> <u>また、本市の目指すべき方向性で示した、出生率の上昇や若年層の社会減を半減させることは容易に達成できるものではありません。</u> <u>中長期的な視点に立ち、市民・産業・行政が人口問題に関する認識、目指すべき方向性を共有することから本市の地方創生は始まります。</u> <u>共通認識のもと、着実に地方創生を進め、人口減少に歯止めをかけることにより、持続可能な地域社会の実現を目指します。</u></p>

2 熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案

P 1 (1) 本市の市内総生産額 4行目	
(意見) 市内総生産と、人口の推移が連動していることが分かるように修正されたい。	
(原文) 市内総生産は伸びてはいないことと、国の経済状況の影響はあるものの、概ね人口の減少と連動しています。	(修正) <u>市内総生産額が減少傾向にあり、概ね人口の減少と連動しています。</u> (別添のとおりグラフを連動性が分かるものへ変更)

P 7 ⑦主幹産業である宿泊業・飲食サービス業 3行目	
(意見) 人口減少と宿泊客数の減少の「正の相関関係」という表記を見直されたい。	
(原文) 本市の人口減少は、宿泊者数の減少と正の相関関係にあり、宿泊業・飲食サービス業との浮沈とも関わり合いが深いとも言えます。	(修正) 本市の人口減少は、宿泊者数の減少と <u>連動しており</u> 、宿泊業・飲食サービス業の浮沈とも関わり合いが深いとも言えます。

P 9 ④地域の特性に即して地域課題を解決する 2行目	
(意見) 「地域の中において安全・安心で心豊かな住まいの生活が将来にわたって確保されるようにする必要があります。」の表記について見直されたい。	
(原文) 地域の中において安全・安心で心豊かな住まいの生活が将来にわたって確保されるようにする必要があります。	(修正) 地域の中において <u>安全・安心な住まいと心豊かな生活</u> が将来にわたって確保されるようにする必要があります。

P 1 1 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則 基本目標1 P 1 2 3. 計画の体系と期間 P 3 0 9. 人口減少の抑制と宿泊客増加の効果の試算 5行目 P 3 1 1. 熱海市人口ビジョンを達成するための基本目標 P 3 2 5つの基本目標と総合計画の施策との関係 P 3 3 3. 熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系図 P 3 4 第3章 基本目標別施策 基本目標1	
(意見) 基本目標1に記載する「温泉観光地を創る」という記載を、現実的な「温泉観光地を目指す」に見直されたい。 また、P 1 1については「観光地」という表記が抜けているので修正されたい。	
(原文) 日本でNo.1の温泉地を創る 又は 日本でNo.1の温泉観光地を創る	(修正) 日本でNo.1の <u>温泉観光地を目指す</u>

P 3 0 9. 人口減少の抑制と宿泊客増加の効果の試算 1行目	
(意見) 生産額の算出根拠が分かるよう人口減少抑制効果により得られた人数を記載されたい。	
(原文) 平成24年度の静岡県の地域経済計算の総生産額から、人口一人当たりの生産額を求め、この生産額を基にして、人口抑制効果により得られた人数を乗じて得られる総生産額は、平成32年(2020年)では、17億6,500万円、2060年では、167億6,100万円と試算されます。	(修正) 平成24年度の静岡県の地域経済計算の総生産額から、人口一人当たりの生産額を求め、この生産額を基にして、 <u>人口減少抑制効果により得られた人数を乗じて得られる生産額は、平成32年(2020年)では、17億6,500万円(601人)、2060年では、167億6,100万円(5,706人)</u> と試算されます。

P 3 3 3. 熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系図 P 3 8 第3章 基本目標別施策 基本目標4	
(意見) 基本目標4に記載する「合計特殊出生率1.22⇒1.50%」の%という単位を見直されたい。	
(原文) 合計特殊出生率 1.22⇒1.50%	(修正) 合計特殊出生率 1.22⇒ <u>1.50</u>

P 3 5 (3) 具体的な施策と事業 [施策名：インバウンドの対応]	
(意見) 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた内容に修正されたい。	
(原文) 市を訪れる外国人観光客に向けて、Wi-Fi環境を整備するとともに、専用ウェブサイトの開設や多言語ガイドブックの作成により外国人観光客を誘客する環境整備を進めていきます。	(修正) <u>東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なイベントが開催される中で予想される外国人観光客の増加に対応した、外国人観光客を誘客するための環境整備を行っていきます。</u>

P 3 6 (2) 構すべき施策に関する基本的方向 3行目	
(意見) 「従業員のスキルアップ」という表現から、「働きがい」という表現に見直されたい。	
(原文) 若者の安定した雇用を創出するためにも、教育機関と地元の企業との連携による、従業員のスキルアップや雇用条件の改善などが求められています。	(修正) 若者の安定した雇用を創出するためにも、教育機関と地元の企業との連携による、 <u>従業員の働きがいもてる雇用条件の改善</u> などが求められています。

P 3 7 (3) 具体的な施策と事業 [施策名：別荘所有者等による滞在人口の増加]	
(意見) 「別荘所有者」と「別荘所有者等」の2通りの記載があるが、「別荘所有者」に統一されたい。	
(原文) 別荘所有者等による滞在人口の増加	(修正) <u>別荘所有者</u> による滞在人口の増加

P 4 0 (2) 講ずべき施策に関する基本的方向

(意見)

熱海市は、高齢者が地域で元気に暮らすことのできる場所であることをPRする施策を追加されたい。

(原文)

市民一人ひとりが、暮らしの向上や地域課題の解決に向けて主体的に地域活動に参加するための環境づくりを推進し、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域福祉を担う関係機関の活動の支援強化を図り、地域における支え合いの仕組みを構築します。

(修正)

市民一人ひとりが、地域で元気に生きがいを持って暮らし続けられるよう推進します。また、暮らしの向上や地域課題の解決に向けて主体的に地域活動に参加するための環境づくりを推進し、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域福祉を担う関係機関の活動の支援強化を図り、地域における支え合いの仕組みを構築します。

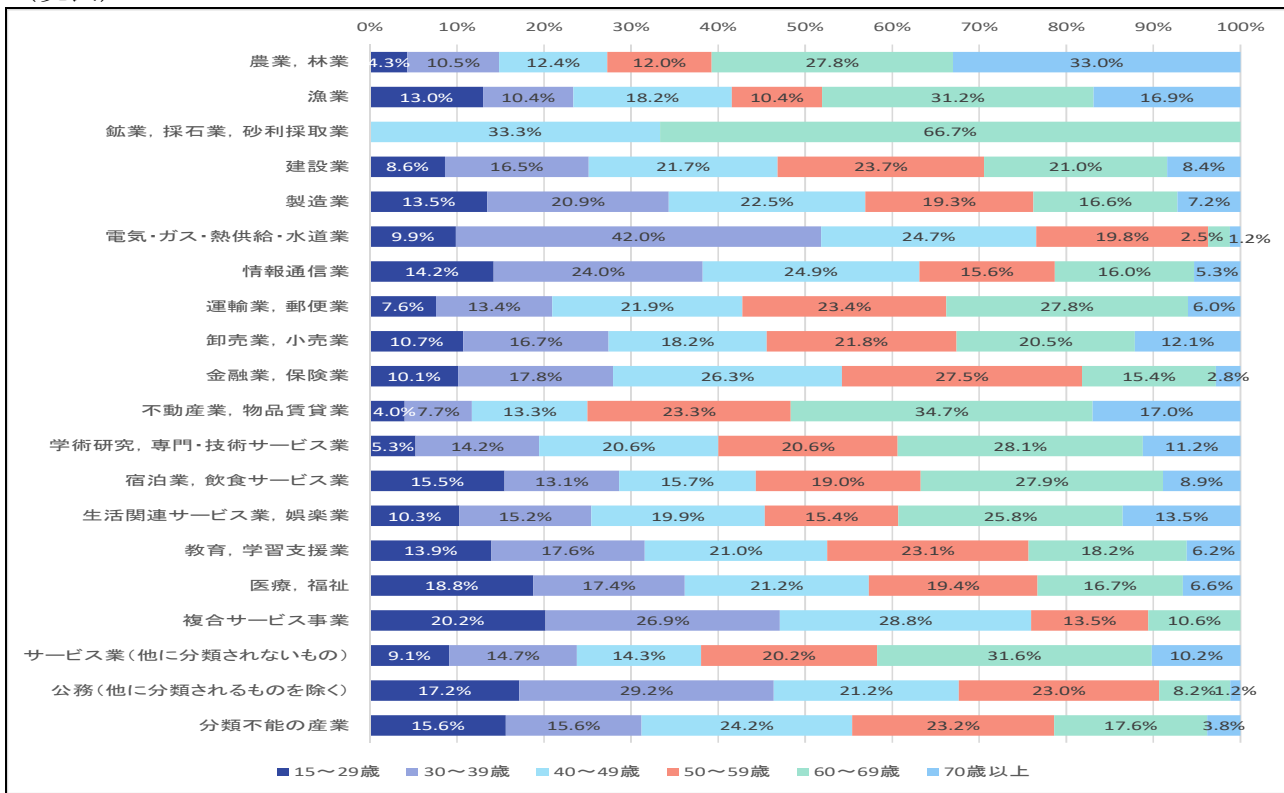
(追加)P 4 1 (3) 具体的な施策と事業

施策名	事業の内容
健康で生きがいのある暮らしの確保	<p>高齢者が地域で元気に生きがいを持って暮らし続けられるよう介護予防・健康づくりを推進するとともに、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう医療・介護・行政の連携を進めます。</p> <p>【具体的事業等】 介護予防事業の拡充 高齢者の運動習慣の保持支援 地域の特性に合わせた健康診査事業 医療・介護・行政の連携強化 総合福祉センターの機能回復</p>
[重要業績評価指標] (K P I)	<p>お達者度の向上 男性 1 7 . 6 9 (H24 16.47) 女性 2 1 . 0 3 (H24 19.26)</p>

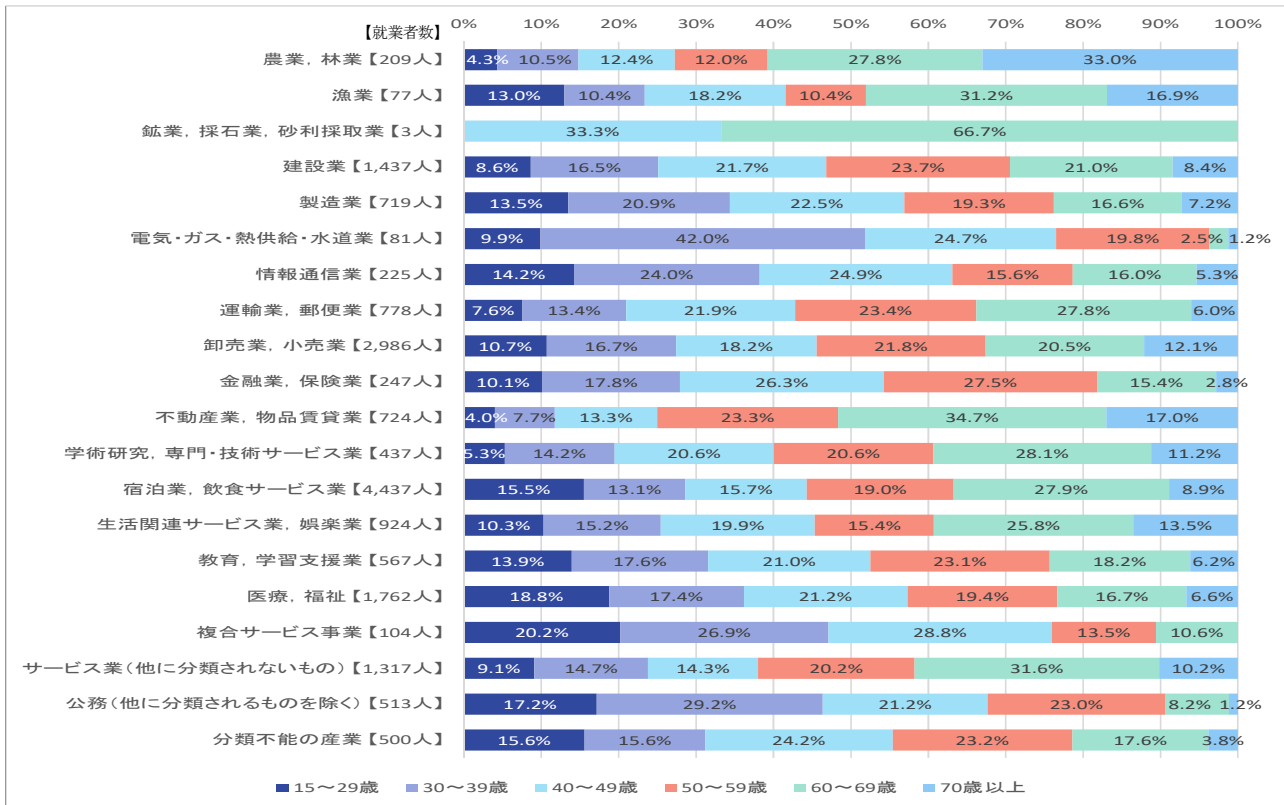
別添グラフ

熱海市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン P 2 5

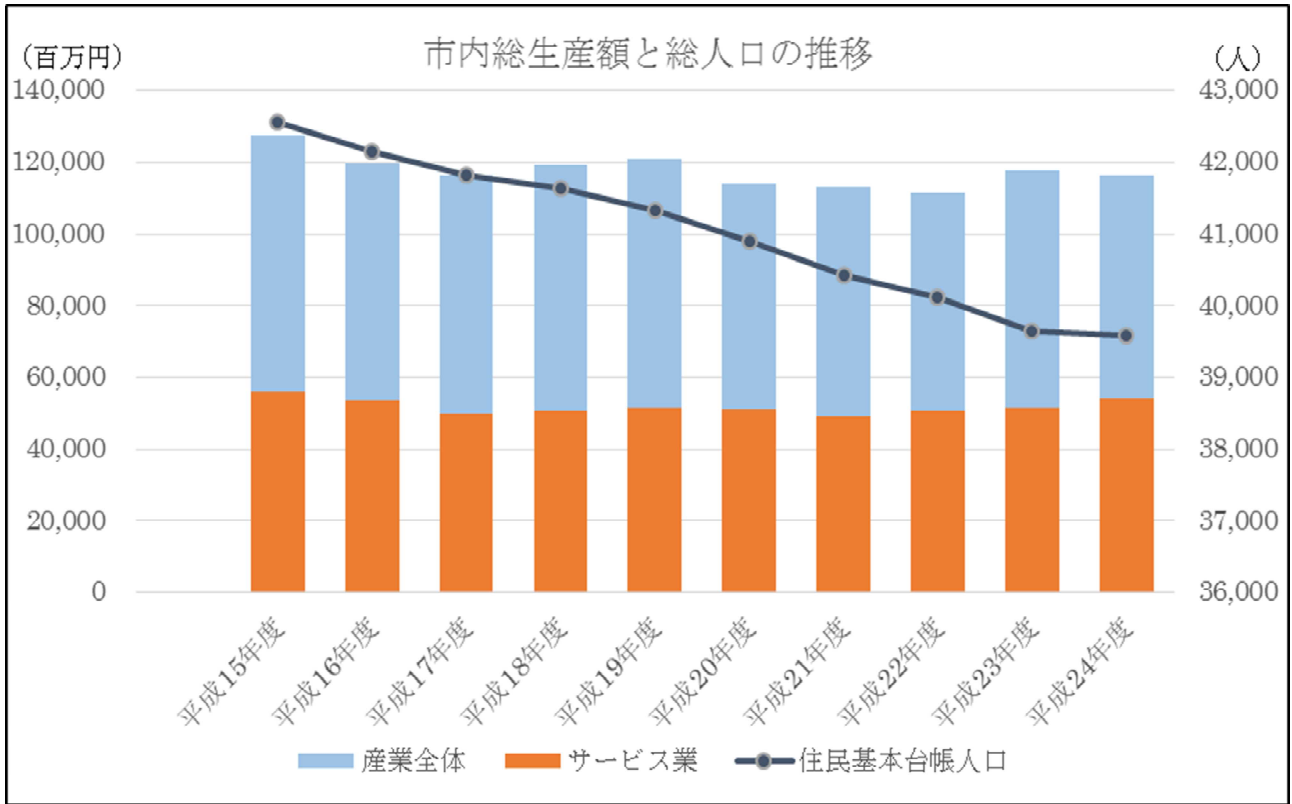
(現表)



(修正)



(現表)



(修正)

